

## 牛のウイルス性呼吸器病に注意しましょう

ウイルス性呼吸器病は寒冷期に発生が多いですが、寒暖差の大きい時期にも注意が必要です。管内において、農場全体の牛で呼吸器症状を示す事例があり、検査の結果、牛RSウイルスの感染が疑われる事例が確認されています。

### 【ウイルス性呼吸器病】

#### ➤ 主な疾病

- ・ 牛RSウイルス病
- ・ 牛伝染性鼻気管炎(IBR)
- ・ 牛パラインフルエンザ
- ・ 牛ウイルス性下痢 など

#### ➤ 症状

- ・ 発熱
- ・ 鼻汁、発咳  
(牛RSウイルス病では妊娠牛の流産がみられることもある)

#### ➤ 治療法

- ・ ウイルスに対する有効な治療薬はなく、二次感染予防のために抗生物質および解熱剤の投与が主体です。



写真：IBR発症牛で見られた膿性鼻汁と流涎  
(農研機構 動物衛生研究部門 ホームページから抜粋)

ウイルスに感染しないことが重要

#### ➤ 予防

- ・ 飼養衛生管理基準の遵守
  - ✓ 畜舎専用の衣服および靴の着用
  - ✓ 手指および靴の消毒
  - ✓ 畜舎内外の清掃、消毒 など
- ・ 換気や敷料の交換
- ・ ワクチンの投与(獣医師と相談の上)

そのためには…



農場内へ病原体を持ち込まないようにしましょう

神奈川県湘南家畜保健衛生所

〒259-1215 平塚市寺田縄 345

TEL 0463-58-0152 ファクシミリ 0463-58-5679